

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	地方道路整備臨時交付金事業費					
担 当 課 係 名	建設 課		監理 係		作成者	武藤義彦
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち				総合計画の ページ
	基本計画	国道や県道、生活道路の整備				
	主要施策	市道の整備				32
予 算 費 目	一般 会計		8 款 土木費	2 項 道路橋りょう費	3 目 道路新設改良費	
事 業 期 間	平成 14 年度 ~ 平成 27 年度			新規 / 継続の区分		継続
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☒ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理					
根 拠 法 令 等						
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務					
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助					

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	地域住民及び通行車両等
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	市道中央線、栃木六本杉線、観光線の道路改良、舗装工事等を行い道路の安全と利便性を図る。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	拡幅改良、舗装打換に伴う測量業務委託及び工事発注、工事監督、用地補償物件の交渉を行う。

【事務事業の推移】

（単位：千円）

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	道路整備延長	m	1,090	835		
	成果指標	整備率	%	15	11		
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費（人件費を除く）(A)			178,154	188,633		
	財源内訳	国 庫 支 出 金		100,155	104,115		
		県 支 出 金					
		地 方 債		76,900	81,100		
		そ の 他					
		一 般 財 源		1,099	3,418		
		人 件 費 (B)	—	3,946	1,287		
		職 員 数	—	0.76	0.76		
		職 員 平 均 人 件 費	—	7,853	8,071		
	(A) + (B) 投下コスト		—	182,100	189,920		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	167,064	227,449	
				—			
		市民1人当たりのコスト(円)		—	5,710	6,049	

【事務事業の今までの成果】

中央線：補償1棟完了、L=940m 供用開始/観光線：L=770m 舗装打換完成/栃木六本杉線：補償1棟完了、L=425m 供用開始

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	道路特定財源の動向による年次計画等の再検討
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	早期完成

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
A	A	現状のまま継続（実施）	早期完成が望まれている事業であり継続する。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
A	本路線整備は、主要幹線道路として生活・通学路として重要な路線であり、早期の完成が望まれている。

一次評価診断図

